

第 7 次埼玉県地域保健医療計画に基づく病院整備計画の整備計画報告書

- 1 医療機関名：社会医療法人 ジャパンメディカルアライアンス 東埼玉総合病院
- 2 所在地（開設予定地）：〒340-0153 埼玉県幸手市吉野 517-5
- 3 整備する病床の機能・数

【変更後】 整備計画病床 +16 床

医療機能*	病床機能報告区分	病床種別	入院基本料・特定入院料	病床数
回復期機能	回復期	一般	地域包括ケア病棟入院料 1	+16
計	—	—	—	+16

*回復期機能、がん医療、脳卒中医療、心血管疾患医療、救急医療、周産期医療、緩和ケア等整備する病床が担う医療機能を記載

【変更前】 整備計画病床 +16 床

医療機能*	病床機能報告区分	病床種別	入院基本料・特定入院料	病床数
回復期機能	回復期	一般	地域包括ケア病棟入院料 1	+16
計	—	—	—	+16

見直しに当たっての考え方、変更後病床数の根拠

（※客観的データを用いた根拠（例：受入患者数×平均在院日数÷365）を記載してください。）
 平成 30 年度の実績で、地域包括ケア病床の患者受入実績は、院内 49%、他医療機関 29%（他病院 8%、他診療所 21%）、自宅 22%です。
 16 床増床後は、自院からの転棟を減らしていき（院内 22%）、地域からの受入が増えると見込んでおり、（他病院 16%、他診療所 37%、他施設 5%、自宅 20%）医療機関等からの紹介が 261 名以上増えると見込んでいます。

$$261 \times \text{平均在院日数 } 27 \text{ 日} \div 365 = 7,047 \text{ 人/年} \cdots \text{①}$$

$$\text{①} \div 365 = 19.3 \text{ 人/日}$$

以上より、増床後は今まで以上に積極的に地域の医療機関からの入院受入を行っていきたいと考えており、16 床増床が必要です。

また、当院は 173 床の規模ではあるが年間 3,000 台の救急搬送を受け入れていることや、平成 30 年度の月平均病床利用率 最大 91.3%ということもあり、満床を理由に救急搬送をお断りするケースも出ています。

2 次 3 次救急に至らない 1.5 次救急の疾患等は地域包括ケア病棟を有効活用し受け入れていき早期在宅復帰をしていきたいと考えております。

以上より、急性期機能を維持しつつ回復機能を増床・強化が必要です。

※埼玉県 averages 26~27 日の為 27 日としています。

4 スケジュール

	項 目	完了（予定）年月
1	開設（変更）許可（医療法）	令和 2 年 6 月
2	建築（着工）	令和 2 年 11 月
3	建築（竣工）	令和 3 年 3 月
4	医療従事者の確保	該当なし
5	使用許可（医療法）	令和 3 年 3 月
6	開設（増床）	令和 3 年 4 月

5 整備方針、目標

○地域医療を支えていくために圏域で果たす役割、機能

「救急こそが医療の原点である」という信念のもと、安心・安全でかつ質の高い保健・医療・福祉サービスを 24 時間 365 日提供することが地域医療を支える上での役割と考えています。173 床のうち 22 床は地域包括ケア病床であり、ポストアキュート・サブアキュートの患者受入を行い、在宅や介護施設へ移るため、医師や看護師、コ・メディカルが患者さんやご家族と協力しながら、在宅や介護施設で生活していくための治療・支援を行ってまいります。

市町村（幸手市・杉戸町・宮代町）との協力体制のもと、年 3 回健康維持・増進として地域住民の皆様へ向け公開講座を実施しており、市町村や地域住民の皆様のご協力のもと今年で 20 回目を迎えています。今後も連携を密にし、地域包括ケアの中核病院として地域住民の健康づくりを推進していきます。

今後高齢者が増加し医療需要が増加していく中、地域の医療機関との連携を強化し地域完結型の医療を提供し地域医療を発展させていくことが当院の役割と考えます。

○新たに担う役割

地域包括ケア病床増床により、回復期機能を有効活用し、今まで以上にポストアキュート・サブアキュートの積極的な受入を行っていきたいと考えております。

具体的には在宅医療を行っている患者さんが増えてきているため、現在も対応しているが、急変時の受入をさらに強化していきたいと考えています。

○将来の方向性

急性期医療を引き続き取り組んでいき、重症患者及び困難症例の積極的な受入を行っていきます。

また回復期機能増床に伴い、ポストアキュート・サブアキュートの積極的な受入も行っています。

外来については地元医師会との協力体制も構築しており、今後もかかりつけ医との連携を強化していきます。

在宅医療にも注力し、自グループ内の他に今後も開業医の先生方とも連携し、患者さんや近隣の方が、生涯にわたり安心して暮らせる地域にするため、積極的に地域に出て行き、地域包括ケアの一翼を担っていきます。

○現在の体制で対応できていない患者と今後の見込み 等

24 時間 365 日患者の受入を行っており、年間 3,000 台の救急車を受け入れております。

その反面、ベッドが満床で受入れをお断りしたケースも多々ありました。

増床することにより、受入体制の強化を図っていく予定です。

地域の医療機関との連携も強化し、前方病院からの急性期治療を経過した患者の受入れも積極的に行っていきます。

【増床病棟】（※有床診療所についても準じて記載してください。）

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
4 階東病棟	14床+16床	回復期		
	一般	入院基本料・特定入院料	地域包括ケア入院医療管理料 1	
診療科 内科、呼吸器内科、消化器内科、糖尿病・代謝内分泌内科、整形外科、脳神経外科、眼科等				
患者の受入見込み （※名称、数値（人数、病床数に占める割合）について具体的に記入してください。）				
【増床前】 平成 30 年度実績 他医療機関より 125 名の受入 他施設より 1 名の受入 今井病院 5 名、新久喜総合病院 5 名、堀中病院 4 名、レイクタウン整形外科病院 2 名、国立病院機構東埼玉病院 2 名、春日部市立医療センター 2 名、秋谷病院 1 名、白岡中央総合病院 1 名、新井病院 1 名、梅原病院 1 名、東武丸山病院 1 名 その他 11 名 他病院から 36 名（8%） 宮城内科クリニック 7 名、石塚医院 6 名、むさしのメディカルクリニック 5 名、いじまクリニック 4 名、いわさきハートクリニック 4 名、さくら整形外科 4 名、高梨クリニック 4 名、久喜江面クリニック 3 名、埼玉杉戸診療所 3 名、鈴木医院 3 名、のぶクリニック 2 名、ふたば在宅クリニック 2 名、公設宮代福祉医療センター（六花）2 名、山根医院 2 名、杉戸クリニック 2 名、野口内科・小児科医院 2 名、高橋内科医院 2 名 その他 32 名 他診療所から 89 名（21%） 介護老人保健施設 葵の園 1 名、特別養護老人ホーム はなみずき 1 名		【増床後】 他医療機関より 358 名の受入 他施設より 30 名の受入 今井病院 15 名、新久喜総合病院 15 名、堀中病院 12 名、レイクタウン整形外科病院 6 名、国立病院機構東埼玉病院 6 名、春日部市立医療センター 6 名、秋谷病院 3 名、白岡中央総合病院 3 名、新井病院 3 名、梅原病院 3 名、東武丸山病院 3 名 その他 30 名 他病院から 105 名（16%） 宮城内科クリニック 20 名、石塚医院 18 名、むさしのメディカルクリニック 15 名、いじまクリニック 10 名、いわさきハートクリニック 10 名、さくら整形外科 10 名、高梨クリニック 10 名、久喜江面クリニック 9 名、埼玉杉戸診療所 9 名、鈴木医院 9 名、のぶクリニック 6 名、ふたば在宅クリニック 6 名、公設宮代福祉医療センター（六花）6 名、山根医院 6 名、杉戸クリニック 6 名、野口内科・小児科医院 6 名、高橋内科医院 6 名 その他 91 名 他診療所から 91 名（37%） 介護老人保健施設 葵の園 3 名、介護老人保健施設ケアタウンゆうゆう 3 名、特別養		

うみクリニック、埼玉杉戸診療所、久我クリニック、高梨クリニック、堀中脳神経外科クリニック、ふかさく眼科、益山クリニック、杉戸耳鼻咽喉科医院、いそ整形外科医院、遠藤医院、高橋内科医院、杉戸いわたけ眼科、東医院、ワイズレディスクリニック、しゅろのき内科クリニック、田中ファミリークリニック、しらすきクリニックハートセンター、幸手クリニック、青毛整形外科クリニック、よしば診療所、馬場医院、酒井整形外科医院、久喜江面クリニック、おのクリニック、西山救急クリニック、長岡産婦人科医院、すずき整形外科クリニック、ふたば在宅クリニック、染谷医院、ゆりのき歯科医院、わたなべクリニック、朝尾整形外科

介護老人保健施設はーとぴあ、介護老人保健施設 葵の園、介護老人保健施設 桜田、介護老人保健施設 ぽっかぽか、介護老人保健施設 ちとせ、特別養護老人ホーム ひだまりの郷

○紹介先

獨協医科大学埼玉医療センター、今井病院、済生会栗橋病院、新久喜総合病院、堀中病院、東鷲宮病院、白岡中央総合病院、埼玉県立がんセンター、春日部厚生病院、春日部中央総合病院、秋谷病院、リハビリテーション天草病院、自治医科大学附属さいたま医療センター、国立病院機構東埼玉病院、久喜すずのき病院、さって福祉病院、東武丸山病院、秀和総合病院、上尾中央総合病院、中田病院、新井病院、日本医科大学付属病院、自治医科大学附属病院、庄和中央病院、茨城西南医療センター病院、梅原病院、大久保病院、戸田中央総合病院、東葛飾病院、東京女子医科大学病院、越谷誠和病院、順天堂大学医学部附属

順天堂越谷病院

宮城内科クリニック、玉井産婦人科医院、むさしのメディカルクリニック、杉戸クリニック、石塚医院、いいじまクリニック、公設宮代福祉医療センター（六花）、山根医院、のぶクリニック、もとむらクリニック、鈴木医院、いわさきハートクリニック、さくら整形外科、ふたば在宅クリニック、埼玉杉戸診療所、のうみクリニック、矢作整形外科・内科、高梨クリニック、鳥居整形外科医院、野口内科・小児科医院、すずき整形外科クリニック、益山クリニック、久喜江面クリニック、浅川医院、いそ整形外科医院、幸手耳鼻咽喉科、久我クリニック、斎藤医院、杉戸いわたけ眼科、青毛整形外科クリニック、東医院、さかた内科クリニック、染谷医院、後藤クリニック、高橋内科医院、ふかさく眼科、フローラ太田小通りクリニック、よしば診療所、酒井整形外科医院、杉戸耳鼻咽喉科医院、堀中脳神経外科クリニック、ワイズレディスクリニック、久喜リウマチクリニック、県西在宅クリニック、順天堂医院

介護老人保健施設はーとぴあ、介護老人保健施設 葵の園、介護老人保健施設 きんもくせい庄和、介護老人保健施設 しょうわ、介護老人保健施設 桜田、特別養護老人ホーム しらさぎ苑、特別養護老人ホームはなみずき、特別養護老人ホーム ひだまりの郷、さつての郷、ひらすかの郷、介護老人保健施設ケアタウンゆうゆう、特別養護老人ホームみどりの森

6 既存病棟の概要（※有床診療所についても既存病床がある場合は準じて記載してください。）

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
2階西病棟 (HCU病床)	4床	高度急性期	8.7日	54.2%
	一般	入院基本料・特定入院料	ハイケアユニット入院医療管理料1	
3階東病棟 (SCU病床)	6床	高度急性期	13.0日	76.4%
	一般	入院基本料・特定入院料	脳卒中ケアユニット入院医療管理料	
2階西病棟	29床	急性期	9.2日	86.3%
	一般	入院基本料・特定入院料	急性期一般入院料1	
3階東病棟	30床	急性期	13.0日	88.5%
	一般	入院基本料・特定入院料	急性期一般入院料1	
3階西病棟	35床	急性期	8.7日	87.6%
	一般	入院基本料・特定入院料	急性期一般入院料1	
4階東病棟	12床	急性期	11.3日	85.9%
	一般	入院基本料・特定入院料	急性期一般入院料1	
4階西病棟	35床	急性期	16.3日	88.2%
	一般	入院基本料・特定入院料	急性期一般入院料1	
4階東病棟 (地域包括ケア病床)	22床	回復期	10.2日	88.2%
	一般	入院基本料・特定入院料	地域包括ケア入院医療管理料1	
診療科				
内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病・代謝内分泌内科、神経内科、外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、リウマチ科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科				
診療実績（平成30年度）				
○手術実施状況				
総手術件数：1,775件（月平均149件）				
診療科別内訳				
外科：358件、乳腺・内分泌外科：77件、血管外科：47件、整形外科：457件、脳神経外科：131件、泌尿器科：304件、眼科：82件、形成外科：318件、消化器内科：1件				

〇がん・脳卒中・心筋梗塞等への治療状況

初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数

	初発					再発	病期分類 基準 (n)	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃癌	33	-	-	-	-	-	1	7
大腸癌	26	37	24	13	-	-	1	7
乳癌	15	22	-	0	14	-	1	7
肺癌	0	-	-	-	-	-	1	7
肝癌	-	0	0	-	-	-	1	7

※ 1 : UICC TNM分類, 2 : 癌取扱い規約

UICC TNM 分類による初発の癌ステージ別患者数と再発患者数を延人数で示しています。当院では手術が可能な早期の患者さんが多い傾向にあります。

脳梗塞の患者数等

発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率
3日以内	179	20.79	37.43	75.65
その他	21	19.14	19.05	75.29

入院中にもっとも医療資源を投入した病名が脳梗塞（ICD-10 : I63\$）の患者さんを対象として発症日から3日以内かその他に分類して示しています。

脳卒中地域連携パスを使用し、回復期リハビリテーション病院や療養病院への早期転院をおこなうことにより、患者様の回復に努めています。

■ 脳神経外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パス
010060x2990401	脳梗塞（脳卒中発症3日目以内、かつ、JCS10未満）手術なし 手術・処置等1:なし 手術・処置等2:4あり 副傷病:なし 重症度:発症前Rankin Scale 0、1又は2	64	18.66	16.18	28.13	70.89	
030400xx99xxxx	前庭機能障害 手術なし	41	3.44	5.10	0.00	70.88	
010040x099000x	非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）（JCS10未満）手術なし 手術・処置等1:なし 手術・処置等2:なし 副傷病:なし	38	30.34	18.72	60.53	68.68	
010230xx99x00x	てんかん 手術なし 手術・処置等2:なし 副傷病:なし	31	6.00	7.28	3.23	60.16	
160100xx97x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 その他の手術あり 手術・処置等2:なし 副傷病:なし	26	11.23	9.69	3.85	82.12	

脳梗塞に対する脳保護薬治療が最も多く、次いで脳出血の順となります。

当院はSCUを稼働しており、急性期脳卒中加療を積極的に行っています。脳卒中地域連携パスを用い、リハビリテーション専門病院（回復期リハビリテーション病院）への早期転院による患者様の回復に努めています。

■循環器科

コード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用バ ス
K5493	経皮的冠動脈ステント留置術（その他のもの）	76	1.05	2.67	1.32	70.91	
K617-4	下肢静脈瘤血管内焼灼術	39	0.00	1.00	0.00	67.62	
K5972	ペースメーカー移植術（経静脈電極）	21	2.19	9.14	0.00	80.24	
K5492	経皮的冠動脈ステント留置術（不安定狭心症に対するもの）	17	0.59	7.35	0.00	65.65	
K5491	経皮的冠動脈ステント留置術（急性心筋梗塞に対するもの）	-	-	-	-	-	

狭心症等に対する経皮的冠動脈ステント留置術が最も多く、次いで平成 29 年 5 月から開始した下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術が多く行っています。

○重症患者への対応状況

医療・看護必要度：35.8%

緊急手術件数：187 件

○救急医療の実施状況

救急車搬送件数：2,985 件（時間外：1,922 件）

救急搬送患者の入院率：46.1%

○在宅復帰への支援の状況、疾患に応じたリハビリテーション（回復期）

在宅復帰率（回復期：地域包括ケア病床）

H30.4	82.9%
H30.5	84.2%
H30.6	97.6%
H30.7	87.9%
H30.8	93.9%
H30.9	96.4%
H30.10	86.1%
H30.11	91.4%
H30.12	92.3%
H31.1	93.3%
H31.2	83.3%
H31.3	81.3%

平均リハ単位数（回復期；地域包括ケア病床）

H30.4	2.9
H30.5	3.0
H30.6	3.7
H30.7	3.2
H30.8	4.6
H30.9	4.4
H30.10	3.4
H30.11	3.5
H30.12	3.0
H31.1	3.7
H31.2	3.2
H31.3	3.2

7 医療従事者（※確保予定の人員には、増員となる人数を記載してください。）

職種	現在の人員（人）			確保予定の人員（人）		
	常勤	非常勤		常勤	非常勤	
		実人数	常勤換算		実人数	常勤換算
医師	31	76	15.4	5		
看護師	160	26	18.9			
その他	147	101	77.8			
計	338	203	112.1	5		

確保状況・確保策、確保スケジュール

（※確保予定の人員について、確保策等を具体的に記載してください。）

医師については、令和3年4月までに5名採用予定。

看護師については、看護補助者を若干名採用予定であり、看護補助者を採用することにより、現在看護補助者とみなして配置している看護師を本来の配置を行う予定。

8 医療（介護）連携における課題、問題点

○急性期医療機関：「出口」となる医療機関は充足されているか

平成 30 年度の当院から転院先の実績として、一般病床等 122 名、療養病床等 45 名、回復期病床等 181 名、合計 364 名が 89 の医療機関へ転院されている。又、16 名が精神科・認知症専門病院 6 医療機関へ転院されており、問題はないと考えます。医師会とも協力体制を強化しており、地域の医療機関との連携を一層深めていきます。

当院の回復期機能病床が増床されることにより、ポストアキュートの患者をより受け入れられるようになり前方の急性期病院の出口としての機能も果たしていき、急性期病院の受皿の課題解決にも繋がり、地域医療に貢献していきます。

○回復期、慢性期医療機関：市町村、ケアマネージャーとの連携状況、待機患者の状況、在宅への移行はスムーズに行われているか 等

医療・介護の連携としては、地域医療推進部を設置しており、各医療機関との連携を行っております。現在、退院支援専従看護師 2 名、退院支援専任ソーシャル・ワーカー 3 名、入院時支援看護師 3 名体制で患者様と地域の医療機関がスムーズに連携が取れるようにしております。患者様への相談窓口も設置しておりソーシャル・ワーカー 3 名を配置しサポートを充実させております。同法人内（埼玉地区）にケアマネージャー 16 名配置しており他施設のケアマネージャーとの連携も強化しており、患者様にあったプランを提供できております。

当院の平均在院日数は急性期・地域包括ケアともに 12 日前後となっており、早い段階での退院支援への介入が問題無くできており、他施設との連携はスムーズに行われていると考えます。